

芽ばえ

第 50 号



豊中市幼保こ小連絡協議会

刀根山・螢池小学校 校区

校区テーマ：ふれあい保育・ふれあい授業交流からこども理解につなげる

4月

5月

6月 第1回連絡会

7月

8月

9月

10月 運動会

11月

12月 園訪問

1月 第2回連絡会 学校見学

2月 入学説明会
新1年生学校体験会(21日)

3月 卒業・卒園式 引継ぎ

第1回連絡会では、各校園所のこどもたちの様子や行事予定、この1年で取り組みたいことなど交流しました。

各園所の様子

神童幼稚園 「たね」から広げる子どもの交流活動

いろいろなたねを持ち寄って紹介したり
違いを観察したら植えてみよう！
やってみたい！と思ったことを共感できた
グループで活動を広げることで友だち同士
のかかわりが増えて協力し合える集団
になりました。



螢池こども園 ドッジボールで成長する様々なすがた

きりん組(5歳児)春からドッチボールを取り組んできました。最初はルールがなかなか理解できず、ボールの取り合いやボールに「あたってない」ともめたり、自分の思う通りにいかず拗ねて抜けていく姿もありました。でも繰り返し遊んでいく中で、自分からボールを取りに行こうと一生懸命努力し、自分だけではなく、友達にボールを譲ってあげようとする姿も見られるようになってきました。また、少人数での練習を積み重ねていく事でルールが分かるようになり、上達して友達から認められる事で自信がつき、ドッチボールがドンドン楽しくなってきました。一人ひとりの成長がクラス全体の成長へと繋がり、いろんな活動や場面で、子ども達が主体的に考え行動するようになり、心も身体も大きく成長しています。

学校体験会 1年生がお兄さんお姉さんになって…成長した姿を見せました！

螢池小学校では、新1年生となる各園所のみなさんに、歌のプレゼントと各教室でのランドセル体験、子どもたちが考え準備したお楽しみブースにご招待しました。

「こうすれば楽しんでもらえるかな」「やさしく教えてあげよう」と相手のことを考える姿に成長を感じました。



桜井谷・桜井谷東・箕面自由学園小学校 校区

～今年度の活動～

- ① 年1回の各小学校での『幼保こ小交流会』（実施時期：1月～3月）
- ② 年2回の校区内幼保こ小教職員による『幼保こ小連絡会』（実施時期：6月、1月）

『連続』から『接続』へ

～遊びの中の『学び』を捉え、小学校へつないでいく～

本年度は「遊びが学びにどう繋がっているのか」、「子ども達の育ちを小学校にどう引き継いでいくのか」、それぞれの現状と思いを共有することから始めていきました。年間を通して、実践報告やグループ交流を行い、それぞれの学校・園の実情を知り、遊びと学びとの繋がりをより意識していきました。



第二回の幼保こ小の連絡会では、豊中みどり幼稚園と豊中市立桜井谷小学校からの実践報告が行われました。コーナー遊びや異年齢交流から、自然と小学校進学に向けて期待、楽しみが持てるようにしていることや、小一プロブレム解消のために遊び要素を取り入れた、体育科でのダンス運動の紹介など、学校園で実際に行われている取り組みを共有しました。

『接続』に向けた一歩

今年度は、新型コロナウイルス感染症による規制も大きく緩和され、数年ぶりに幼保こ小の連携に関わる行事や連絡会を通常通り開催することができました。各小学校で行われた幼保こ小の交流会で、幼保この園児らは、小学1年生のお兄さん、お姉さんとの関わりの中で、小学校入学に向けて期待を大きく膨らませていました。

また、こうした交流ができなかった数年の間に、人と人との距離感の持ち方が大きく変わったり、小学校にはタブレットが導入されたりと、従来までとは違った形での活動を、各学校園が工夫を凝らし、実践していることが連絡会内で見えてきました。来年度からは、幼保こ小の教職員がより密に『接続』を意識していけるように、各学校園の教職員が相互に現場に赴き、子どもの実態把握に力を入れていきます。

克明・箕輪小学校 校区

6月 校区幼保こ小連絡会

7月

8月 幼保こ小夏期研修会

10月 克明小・箕輪小運動会

12月 五中校区ふれ愛カーニバル

1月 校区幼保こ小連絡会

2月 箕輪小学校交流会
克明小公開研究発表会

3月 克明小学校交流会

幼児期につけたい10の姿が学校にどうつながっていくか
～友達に関心をもつ、気持ちの切り替え、自分の気持ちを伝える～

<6月>各校園所から、子どもの姿や課題とめざす姿について交流し、今年度のテーマを決めました。

<2月>年度のテーマについて、各校園所の1年間の取り組みや成果を交流しました。

各園所で、友達に関心をもてるように、クラス遊びや2クラス合同、たてわり、4人グループなど遊び方を工夫したり、クラスでうれしかったことを発表したりする取り組みのなかで、友だちへの声かけや教えたり助けたりする姿が見られるようになってきました。

小学校でも、遊びや生活の中で育った子どもたちの力を生かせるよう、勉強と子どもをつなぐ活動や安心ルールのもとクラスで話す活動などに取り組みました。

克明小学校 交流会 3月1日(金)

ランドセルを背負ったり、教科書を見たり、鉛筆でなぞり書きをしたりする経験ができるよう1年生が新入生をサポートしました。1年生は「やさしくしよう」と意識して関わっていました。新入生は最初、緊張も見えましたが、少しずつ慣れ、小学生の体験を楽しんでいました。



箕輪小学校 “新1年生を迎える会”

2月22日(木)

体育館で新しい1年生をお迎えしました。1年生の代表のあいさつの後、『にじ』（新沢としひこ/作詞 中川ひろたか/作曲）を歌って新しい1年生を歓迎しました。

一人一人に折り紙で作った手作りのメダルをプレゼントしてから、1年生が新しい1年生を学校探検に招待しました。広い体育館や、校舎の中を一緒に見て回りました。



大池・上野・少路小学校 校区

4月

5月

6月 第1回幼保こ小連絡会

7月 小学校夏祭りに参加

8月 夏期研修会

9月 敬老の集い

10月 市民体育祭に参加

11月

12月

1月 第2回幼保こ小連絡会

2月 小学校交流会

3月 引継ぎ

「つながる」から「つなげる」へ

本園からの卒園児の様子について、小学校の先生方と電話や直接の話し合いの機会を設け、小学校見学や子どもの様子についての引継ぎ等を行った。小学校の先生や教育センターの方などと職員間でのやり取りをすることで、子どもの困り感を少しでも軽減できればと思う。

新1年生招待会



小学生と一緒にふきごまを



ECEQ@公開保育

公開保育を通して地域の方に日々の保育の様子を実際に見てもらい、様々な意見を頂いた。

～様々な個性をもった子どもたち！ 持ち味が光るクラス～

子どもたちが中心となり遊びを進めていきながら、自分の気持ちを言葉で伝えようとするのを大事にしてきました。運動会や生活発表会などいろいろな活動を友達と取り組んでいく中で、みんなが参加できる方法を考えたり話し合ったり、同じ目的に向かってやり遂げる楽しさや喜びを感じたり、自信をつけてきました。幼児期の様々な経験が心の根っこになり、就学に向けての期待と自信へと変化してきています。



学びへと繋がる保育者の関わり方

子どもの学びを捉えるために、見通しを持った関わりや保育に取り組んできた。今の姿だけでなく、成長の先の姿をイメージすることが大切であることを実感した。そのためには、実際に小学校での姿を見ることが、活動の報告をし合えることが必要で、互いの「子ども観」を共有できる環境があることで、意識を高め合うことができると感じた。

今年度、幼保こ小で、交流日を互いに伝え合えたことは大きな一歩であったが、実際に積極的に交流することが難しかった。今後の課題であると思う。

野畑・北緑丘小学校 校区

6月 第1回幼保こ小連絡協議会

7月 公開保育（豊中みどり幼稚園 のばたけ保育園 春日 荘聖マリア幼稚園）野畑小学校公開授業

9月 公開保育（のばたけこども園 春日荘聖マリア幼稚園）

10月 北緑丘小学校運動会見学

11月 公開保育（緑ヶ丘幼稚園）

1月 第2回幼保こ小連絡協議会 公開保育（のばたけ保育園）

2月9日 新一年生体験交流会

3月 園訪問、引継ぎ

「対話力」を身につけさせるために

今年度最初に子どもたちの現状を交流し合う中で、「話す・表現する力」や「聴く力」に大きな差があり、相手を理解することが難しいという課題が見えてきました。そこで校区のテーマを「対話力を身につけさせるために」としました。

この一年間、各園校でテーマを意識して活動を考え、取り組みを行うとともに、年間を通して公開保育や公開授業に参加し、連携を深めていくことをめざしてきました。

幼保こ小連絡協議会様子



気持ちのおはなしハートマン 話し方名人・聞き方名人



タブレットや図鑑を使って～たのしいあきいっぱい 学校マップをつくろう～

やったねまーく



1年間の活動を通しての成果と課題

- ・iPad を見せながら、みんなの前でも説明や発表をすることができるようになった。
- ・トラブルの時、周りの子を含めてどうしたらよかったか、言い方や解決の仕方を学んでいる。
- ・iPad を使って調べ、制作の過程で友達と相談しながら、対話しながら作っている。
- ・リレーの順番決めて話し合い活動を多く取り入れた。上手くできなかった時はどうしたらよかったか、さらに話し合いを続け、本番で上手くいかなくても「悔しいけど仕方ないね」と言えた。
- ・運動会の組体操や劇等を子どもたちで決める。自分の意見を少しずつ人に伝えられてきている。
- ・振り返りや紹介タイムをしている。三つのお話を聞く、紹介したい物を発表することができた。
- ・気持ちカードを使っている。いろいろな気持ちがあることに気付いてほしい。達成感に繋がれば。
- ・グループでの話し合い活動を続けて、調整役ができる子も出てきた。年下の子には優しくできる。
- ・話し方名人や聞き方名人等話す方法を伝えることで、言葉のキャッチボールが出来るようになった。

【今後の取り組み】

少人数で話し合いを通して対話力を身に付けていく。言葉には家庭環境等により個人差が大きい。大人も正しい言葉遣いをするように注意し、絵本の読み聞かせなどでたくさんの言葉にふれさせる。

新田・西丘・南丘・新田南小学校 校区

6月 第1回幼保こ小連絡会
評議員会開催

7月 小学校夏祭りに出店

9月 公開保育

10月 運動会リハーサル見学
小学校で運動会開催

11月 児童・職員交流
ニコニコフェスタ
お店屋さんプロジェクト

12月 卒業園児の交流会

1月 第2回幼保こ小連絡会

2月 わくわく！学校体験
1年生と交流・授業見学ワーク
工作・ランドセル体験等

3月 各小 幼保こ引継ぎ会

連携から接続へ
遊びの中の「学び」をとらえる

西丘こども園5歳児の2023年度運動会の演目は「ソーラン」でした。園長が教え子の西丘小5年生運動会演目がソーランであることを聞きつけ、リハーサル演技見学（10月8日）が実現しました。以下西丘小のホームページより「・・・園児たちはテント前に陣取っていた。一致団結で踊る5年生を目の当たりにし「かっこいい！すごい！うわぁ！」と声踊る。一体感ある5年生の演技に釘付けだった。5年生もちっちゃなお客さんの視線にハッスル、リハーサルにも気合が入りマッスルだった。成長していた西丘小5年生の踊りに園長先生の顔もほころぶ。5歳児さん一同「今日はソーランとリレーを見せてくれてありがとうございます」。手を振って下門から西丘を後にした。校長先生「来年待ってるよー」。園長先生「5歳児にはとても刺激になりました。私たちも頑張りたいと思ってくれたようです。連れてきて良かったです」。小学校とこども園との連携はすすむ。

ちっちゃな手のソーランつなぐ こども園

5歳児にとっては、踊ることは遊びのひとつです。ソーランを踊る喜びや楽しさを小学校へとつなげていきます。



物理的な連携 小学校の運動場を使っでの運動会

みくま幼稚園では、隣接している西丘小学校の敷地をお借りして運動会を実施しています。10月21日の運動会ではダンスやリレーなどをおこないました。年長組にとっては、来年同じ運動場で学ぶ園児も多くいます。保護者にとっても実際に小学校のイメージができ、将来を思い描いて期待に胸を膨らませられたのではないのでしょうか。百聞は一見に如かずです。たくましい体とゆたかな心を育成する意味でも、血が通う連携を進めていけたらと思います。



北丘・東丘小学校 校区

4月 入学式・入園式

5月 北丘小運動会⇒

6月 幼保こ小連絡会

7月 カレーキャンプ🍲 (in 東丘小)

8月 地域夏祭り (in 東丘小)

10月 読み聞かせ会□
東丘小運動会・地域ふれあい運動会

11月 キャンドルナイト🕯️
(in 新千里東町)
みんなで楽しまナイト
つつじマルシェ (in 新千里北町)

12月 お店屋さんプロジェクト
(in せんりひじり幼稚園)

2月 なかよしランド・体験入学
(in 北丘小・東丘小)

3月 卒業式・卒園式



～2023年度 校区テーマ～

つなぐ・つなげる・つながる、大人も子どもも『架け橋』

各園所や小学校の取組を振り返りながら、小学校の教職員は幼児期の取組やカリキュラムを知り、幼保こ園の教職員も小学校におけるスタートプログラムや教育課程を知ることで、相互の実践について理解を深めること。また、1年間の実践について効果検証を行い、次年度につながるものとなるよう、子どもの過ごしを軸にした意見交流をより一層深めることを大切にしました。

絵本交流 (北丘小⇄北丘聖愛園)

コロナ禍が終息し、校園の連携も戻ってきました。

北丘小の1年生と聖愛園の4・5歳児が2人1組になり、

園児がわかりやすいようにゆっくりと読んだり、会話をしながら進めたりと、充実した絵本交流でした。

しかも、卒園児にも久しぶりに会えるという特典付き😊



『なかよしランド』～小学校体験入学～

小学校のイメージをもってもらうこと、迎える側の小学生も年上・先輩としてのプライドが目覚めます。

ちょっと前までは迎えられる方の年長さんだった

1年生も、いつの間にかだいぶと逞しくなっていることを感じます。

最後に、体験ツアーには恒例の“おみや”がついています。

1年生が入学してから生活の授業で、大切に育てたアサガオが残してくれた種を、手作りの封筒に入れてプレゼントしました。

そして、4月から新1年生がアサガオを育て、種を収穫し、また次の年長さんへ…と学びをつないでいきます。



10のつきたい力の継承

幼稚園・保育園・こども園からは、これまで様々な活動で培ってきた子どもたちの変容や成長の軌跡を、小学校からは子どもたちの出来たことや頑張り、そして成長など伝えたいことがたくさんあり、『もちあじ』を発揮している姿を教職員がイメージできるよう、それぞれの保育活動や授業内容を共有できることが大切です。一つひとつの実践が積み重なり、線でつながるような『学びの連続性』を意識した実践をめざして、今後も連携・接続において持続可能な取組を継続・探求していきたいと考えています。

校区テーマ

行事を通して子どもたちの体験をつないでいく

4月

5月 幼保こ小連絡会

6月

7月

8月 夏期研修会

9月 参観日訪問

10月 運動会見学

11月 合同発表会訪問

12月

1月 幼保こ小連絡会

2月 体験入学

3月

桜塚小学校での取り組み

遠足や運動会、作品展、異学年交流など様々な行事を通して、「人とつながる」「チャレンジする」力がついてきた。

4月中は、新しい環境で不安な気持ちから、周りの子どもにも興味を持たず、友だち関係が狭いままであった。そこで遠足や体を動かしたり、話し合いをしたりする活動を取り入れた授業を通して、徐々に周りの子どもに目がいき、自分から関わりをいこうとする子どもの姿も見られた。

また、一人一役任せることで、責任を持ち、行事に取り組み、それが自信となり、多方面へチャレンジする姿を見ることができた。

さくらづか保育園での取り組み

進級当初は、嬉しさや不安な気持ちから落ち着く事が難しかった子ども達でしたが、様々な取り組みや行事を通して成長し、自分への自信が芽生えました。

一つ目は、異年齢での関わりです。最初は関わり方が分からず戸惑っていましたが、関わりを通して、相手の気持ちを考える、優しく接するなど子ども一人ひとりの意識の変化が見られ、頼られる嬉しさを感じられるようになりました。

二つ目は、食育です。食に対しての意欲が見られなかった為、ジュース作りや野菜の栽培、収穫、クッキングなど様々な取り組みをする事で、食材に興味を持ち少しずつ食べる事が好きになっていきました。

食育を通して、畑作り・毎日の水やりなどの過程を知る事で、食べた時より美味しさを感じる事ができました。

豊中幼稚園～幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿の視点から～

豊中幼稚園では、幼児の今の育ちを丁寧に見取りながら、10の姿の観点を指標の一つとして振り返りの時間を持っている。振り返りの内容を基に、次の育ちの手立てを考え、実践し、幼児の変化や成長に気づいていくというプロセス（PDCAサイクル）を教育計画の中心に捉え、実践に繋げていくことを目標に取り組んでいるところである。また、教師同士の対話を密にし、様々な視点から見た幼児の育ちを考慮した評価を行うことに留意し、園全体で一人ひとりの幼児の育ちを見守り、支えていくことが大切であると考えている。

行事は特別な取り組みではなく、あくまでも幼児の育ちの過程の一部であることを念頭に総合的な育ちを見取ることが重要であり、クラス全体への視点に加えて、一人ひとりの育ちにも着目し、個別最適な関わり方にも留意していくことが求められている。

熊野田・泉丘小学校 校区

4月
5月
6月
◇ 第1回幼保こ小連絡会
7月
8月
9月
10月
◇ 小学校による園所訪問
◇ 園所運動会練習で小学校の校庭利用
◇ 園所運動会で小学校の校庭利用
11月
◇ 園所による小学校音楽会1年生のリハーサル見学
12月
1月
◇ 第2回幼保こ小連絡会
◇ 小学校と園所の引継ぎ
2月
◇ 幼保こ小交流会
◇ 小学校による園所訪問
◇ 隣接する園所による避難訓練に協力
3月

年間を通して学校見学や園所見学、園所交流を柔軟に実施

遊びの中から学び 集団の中での活動 遊びを通して

- ◇ 読み聞かせ：文字に親しむ時間を設ける。小学校でも引き継いでいく。
- ◇ 流行っているものを共有していく。入学後の安心感をもてるように。遊びから学びへ子どもたち同士で自然発生していく内容を交流していく。
- ◇ 全体的に足を運んで柔軟に交流していく。



タブレット端末



折り紙



プレゼン



クイズ



音読



朝顔の種のおみやげ

幼保こ小交流会の様子

小1 プロブレム軽減の取組み

- ◇ 小学校就学に向けて
 - ・ 文字の練習：自分の名前、お手紙ごっこ、「連絡帳」のまねっこ、等
 - ・ 45分間授業：小学校ごっこ、「ペタ・ピン・トン」の椅子に座る姿勢を経験、等
 - ・ 主体性を伸ばす：時計を見て行動、子ども同士で話し合い解決する機会をもうける、図鑑で調べる、等
- ◇ 入学して1年が経って
 - ・ トラブル：子ども同士で話し合って解決できることが増えた。
折り合いがつかない時、自分の気持ちが言えるようになった。
 - ・ 自主性：自分たちで出来ることが増えた。

中豊島小・緑地小学校 校区

「幼保こ」と「小」の連携

「幼保こ」の子どもたちが、スムーズに小学校生活をスタートするために、密な連携を行いました。

幼保こ小交流会の様子

4月 第1回交流会

5月

6月

7月

8月

9月

10月 服部みどり幼稚園運動会

11月

12月

1月

2月 幼保こ小交流会

3月 第2回交流会



幼保こ小交流会では、少しでも小学校のことを知ってほしいと思って、1年生から校歌と運動会で踊ったダンスのプレゼントをしました。元気な歌声とカッコいいダンスに「幼保こ」の子どもたちは真剣なまなざしで見せてくれました。

そのあとは、体育館で「猛獣狩りゲーム」、教室で折り紙を一緒に折って交流しました。

「幼保こ」の子どもたちの中には、1年生としてそれぞれの園所から一人だけ入学するという子どもも何人かいました。「一人で不安なんだって！」と小学校の教員が「幼保こ」の子どもたちに声をかけると、「4月からは一緒だよ。」と声をかけてくれる子どもがいて、名前も教えあっていました。入学する前からすっかり仲良しになっている様子でした。

豊島・豊島西小学校 校区

交流記録

6月 第一回幼保こ小連絡会

1月 第二回幼保こ小連絡会

2月 小学校での交流会

2月 引継ぎ・園訪問

2～3月 小学校まで園外散歩



ひらがなと絵を使って、文字や身支度に興味を持てるよう工夫しました。また、準備した物が分かりやすいようチェック欄も入れています。

園での取り組み

小学校についての絵本や紙芝居を皆でみました。子どもたちに問いかけながら読むと、「知ってる!」「お姉ちゃんが言ってた!」などと知っている事をたくさん教えてくれました。また新しい発見があると「すごい」と目を輝かせていました。最後には「小学校楽しみ」「はやくいきたい」とワクワクした様子でした。



「持ち物確認表」

就学に向けて、自分で保育園の準備ができるよう「持ち物確認表」を作成し、また保護者の方にも子ども達自身で用意ができるよう協力してもらいました。初めは、「ママが準備した」「ママが忘れてた」と言っていた子どもたちですが、日が経つにつれ、「自分でできた!」「忘れ物してない!」と自信満々に報告してくれるようになりました。

2023年度校区テーマ

「 幼保こ小のスムーズな連携 」

本年度は、スムーズな連携をテーマに、連絡会で意見交換やそれぞれの現状等の情報共有をしました。また、こども園や小学校での課題や課題に対してどのように工夫しているか等話し合い、それぞれの取り組みを知る機会となりました。「集中力がつかない」「当たり前が難しい」などの共通課題が見つかりました。今年度は未就学児と小学生が触れ合える機会をなかなか作れなかったため、今後交流できる機会を増やしたり、関わりを持てたりするような活動をたくさん取り入れ、より幼保こ小のスムーズな連携に繋がりたいと考えます。

豊島北・原田小学校 校区

4月 1年生見学

5月 小学校体育館で運動会

6月 第1回幼保こ小連絡会

7月 公開保育参観

8月 夏期研修会参加

9月 行事の参観

10月 行事の参観

11月 公開保育参観

12月 生活発表会参観

1月 第2回幼保こ小連絡会

2月 年長児 小学校体験

3月 引継ぎ・園訪問

園から小学校へつなぐ

全体テーマ『『連携』から「接続」へ』に基づき、『園での生活を小学校での生活にどうつなげていくのか』について研究していくことにした。小学校から「正しい姿勢で座るのが苦手」「自分の思いを上手く伝えられない」という子どもたちの課題が出されていたことから、どの園でも小学校での生活に向けてこのことに留意した様々なとりくみを考えていくことにし、互いに見学し合うことになった。

課題解決に向けてのとりくみの例

姿勢…『びた・ぴん・ぐー』を意識して座る。

背もたれのない椅子を使う。

思いを伝える…

話し合い活動をたくさん取り入れる。

「今どんなきもち」のカードを使ってことばにする



豊島北小では、コロナ明けから、入学体験を集合型では行わず、園ごとに『学校探検』として行っています。今年度も12園から200名が来てくれました。

育てたようにこどもは育つ

1回目の連絡会で校区の課題に挙げた事柄について、校区全体で様々な活動の中に盛り込んでとりくみを進めた結果、少しずつ子どもの姿が変わってきたことが感じられた。特別に新たなことを追加しなくても、指導者側がこのポイントにはこだわろうと意識するだけでこどもたちにも伝わっていく。年度当初には、自分の思いを上手く言えなかった子どもたちが、回数を重ねることでこども会議ができるようになってきたという園の報告を聞いて、指導者の姿勢が大切であることを再認識した。こうして各園で積み上げられてきたとりくみを活かし、小学校でもさらに伸ばし、中学校へとつないでいけるように広げていきたい。

北条・寺内小学校 校区

4月

5月

6月 幼保こ小連絡会①

7月

8月

9月

10月 園所訪問

11月 園所訪問

12月

1月 幼保こ小連絡会②

2月 小学校招待会

3月

【小学校招待会のねらい】

新1年生になる、幼稚園、こども園、保育園の園児たちを小学校に招き、小学校の雰囲気味わうとともに1年生とともに活動し楽しく過ごすことで小学校進学に対し、不安感を和らげ、期待を高める。

【内容】

体育館にて…

- ①歌「世界中の子どもたちが」
- ②手遊び歌
- ③ジャンボジャンケン

教室にて…

- ④学校紹介 学校クイズなど



【取り組んでみて…】

先生たちに引率されて園児たちが、仲良く手をつないで小学校にやってきました。体育館では「おはようございます！」ととても元気な挨拶が返ってきました。

園児のみなさんは最初、少し緊張も見られましたが、1年生との交流でほぐれていき、自然な笑顔をたくさん見せてくれました。お別れのときは正門前で見えなくなるまで手を振り続ける1年生の姿がありました。この春に上級生になる自覚が芽生えたのではないかと思います。短い時間でしたが、園児たちにとっては、小学校の雰囲気を味わえる貴重な機会になりました。

【校区テーマ】子どもにとってスムーズな入学に向けた送り出し、受入れ準備

上記のテーマのもと、幼保こ小連携を行いました。ここ数年は、コロナ禍の状況の中、様々な取り組みの実施そのものが難しく、入学の際には、保護者のみならず子どもたち自身も不安を抱いていたと思われます。今年度になって、幼保こ小交流会（小学校招待会）では、通常通りの取り組みを進めることができました。また、年間2回の連絡会や園所訪問では、各園所の先生方のご協力もあって、子どもたちの情報を丁寧に交流することができたと思われます。

庄内さくら学園 校区

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月 交流会

11月

12月

1月

2月 さくら学園 体験入学

3月

今回の交流会では、5つのコーナーを作ってさくら学園の1年生が、年長組の子どもたちをリードして、コーナーを回り、一緒に遊びました。

1年生は、「自分たちが年上」という意識を持ちながら年長児に関わったり、年長児は、「来年は自分たちも小学生」という気持ちを持ちながら、教えてもらったり、一緒に楽しんだりして過ごしていました。



1年生の姿……

コーナーを考える時も、園児が出来るようなものを考えながら作っていました。各コーナーごとに、園児に対して優しく声を掛けていました。「こっちだよ。」や「名前書いておくれ。」など、園児の様子を見ながら関わる姿が見られました。

園児の姿……

何をするのかわくわくしながら体育館に向かっていました。お兄ちゃんお姉ちゃんからコーナーの説明を受け、楽しそうに遊んでいました。「けん玉作った！」と言って、園に帰ってもけん玉をして遊び、喜んでいました。



広い体育館で遊ぶ事が出来てとても嬉しそうにしていた年長の子ども達。新しい環境で、実際に小学生に色々な遊びを教えてもらうことが出来たことで、園に戻ってから「さくら学園早く行きたい!」「背が大きくてかっこよかった!」「話聞くのが上手だった!」等と小学校に期待を膨らませる声がたくさん聞こえてきました。



小学校に期待をもつ子どもの姿が増えてきました!

1年生の子ども達が考えた「ダンス」「伝承遊び」「サーキット」「折り紙」「けん玉作り」の5つのコーナーをグループに分かれて回りました。コーナーごとについている小学生の子ども達が園児に優しく声を掛けたり、説明をしたりして楽しく交流する事が出来ました。作った折り紙やけん玉を持ち帰る事が出来、嬉しそうにしていた子ども達。園で何度もけん玉をして遊ぶ姿があり、思い出に残る1日になりました。

小学校に行った事で、小学校への憧れをもつ子どもが見られるようになりました。来年度も小学校と連携をしながら、小学校に期待を膨らます子ども達が増えるといいなと思います。



庄内西・庄内南・千成小学校 校区

4月

5月 庄内南 運動会

6月第一回 幼保こ小連絡会議



今年度の校区のテーマ

「子どもの可能性を広げるために ～教職員の交流から始める 子どもの育ちの接続～」

8月 幼保こ小 夏季研修

10月 各運動会

11月

12月 栄町こども園 交流会

1月第二回 幼保こ小連絡会議

2月 幼保こ小交流会
各園所学校見学・体験

今年度は上記目標のために、まずは就学前施設と小学校が「お互いの現場を知り、学ぶことをしていこう」と取り組みました。

12月には栄町こども園の教職員2名が、小学校現場を見学に来られました。小学校ではどのような授業をしているのか、子どもたちの様子はどのようなものかを見学された後、育ちの接続をテーマに意見交換を行いました。その成果として、園に通っていた個々の子どもたちの成長を感じたことや、これまでの園・小学校の先生方の工夫や苦勞を共有することで、指導における注意点や支援を行う際の配慮すべき点にお互い目を向けることができ、とても有意義な時間を共有できました。

上の写真にあるように、今年度も交流会を行いました。テーマとしては「校区のこども園を迎えて」とし、1年生が主体となり、次年度に入学予定の5歳児たちが安心して入学を迎えることが出来るようにすることをねらいとしておこないました。

最初は緊張していた園児たちも徐々に緊張がほぐれて笑顔で一緒に遊んだり踊ったりしていました。

育ちの接続をスムーズにするには各園所と学校の細やかな意識の共有が必要

この一年、各園所の先生方としっかりと情報交換できたことはお互いの苦勞も知ることができてとても有意義であったと思いました。ただお互い、なかなか時間が取り辛いのと、大局的にこれらの問題について話し合うというよりは、自分たちの教えた子どもたちの情報を通して今回のテーマについて考えてしまう傾向もちらほらではあるがみられました。話のスタートはそれで十分であるとは考えますが、今後、ますます多様化する子どもたちの課題に対して、さらに一歩進んだ視点をもって話し合っていくこと、そして適切な情報を共有することが今後必要になってくると考えます。

豊南・高川・小曾根小学校 校区

校区テーマ

緩やかな接続へ 互いに知り合う

～ ことばを大切に 自分の気持ちを伝えることを大切に

4月 職員交流

5月 参観授業

6月 第1回幼保こ小連絡会

7月 公開保育

8月 夏期研修会

9月 運動会練習見学

10月 運動会参観

1月 新1年生体験交流会

2月 新1年生体験交流会
第1回幼保こ小連絡会
引継ぎ・園訪問

3月 引継ぎ・園訪問

幼保こ小連絡会では、幼・保・こ・小との連携を大切にしています。緩やかな接続へ、そして互いに知り合うために、年間を通して、見学、参観などの機会を設けています。



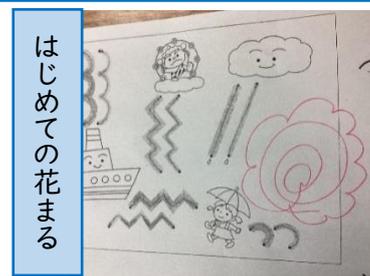
お道具箱を見たよ

新1年生体験交流会の様子

年長組の子どもたちは、はじめは緊張した様子でしたが、1年生との交流ではたくさんの笑顔が見られました。



はじめての教科書



はじめての花まる



はじめての授業



メダルのプレゼント

小学校にて、新1年生体験交流会を行いました

3校それぞれの小学校にて、1年生と年長組の子どもたちの交流会を行いました。

○豊南小学校 1月31日(水) ○高川小学校 2月8日(木) ○小曾根小学校 2月19日(月)

小学校に入学することへの不安な気持ちをなくして、楽しみな気持ちを持てるようにと願い、3校の小学校で工夫を凝らした交流会を行いました。交流会は、1年生にとっても、2年生になる期待と喜びを感じる体験になりました。

<1年生の感想より>

- ・さいしょはドキドキして あんまりしゃべれなかったけど とちゅうから なれてきてよかったです。
- ・らい年の一年生がきたとき きんちょうしたけど いっしょにはなしたら きんちょうかんがなくなってうれしかったです。
- いつか らい年の一年生とあそびたいです。

令和6年6月

芽 ば え 第50号

編集・豊中市幼保こ小連絡協議会
